

環 境 経 営 レ ポ ー ト

第 14 版



対 象 期 間 令和4年8月～令和5年7月

発 行 日 令和5年11月30日

株式会社 中部資源再開発

I 組織の概要

I-1 事業者名及び所在地、事業の概要

☆ 会社名	株式会社 中部資源再開発	
☆ 代表者	代表取締役社長 今村 秀憲	
☆ 所在地	【本社・湊工場】 石川県金沢市湊1丁目55番地16 TEL 076-238-3262(代表) FAX 076-238-6992 http://www.chubu-shigen.co.jp	
☆ 設立	平成12年8月1日	
☆ 資本金	1,000万円	
☆ 売上高	2,230百万円 第21期(令和4年8月～令和5年7月)	
☆ 従業員数	49人(内 技術管理者 12人)	
☆ 環境管理責任者	本社工場長 大瀧 竜二 連絡先 076-238-3262	
事務局	湊田 幹人 松崎 祐希 連絡先 076-238-3262	
☆ 所在地	石川県金沢市湊1丁目55番地16	本社・湊工場
	石川県金沢市湊1丁目22番地7	TGコンクリート ※
	石川県金沢市才田戊288番地3	才田工場
	石川県七尾市白馬町八部9番地1	七尾工場
	石川県鳳珠郡能登町太田原ヌ6番地1	能登工場
	石川県羽咋市四柳町ヘ2番	羽咋工場
	石川県白山市小柳町ヌ3番3	白山工場
	石川県小松市国府台5丁目34番地1	小松工場
	石川県加賀市黒瀬町ネ1番1外12筆	加賀黒瀬工場
	石川県小松市浮柳町ソ223番外14筆	安宅工場
	石川県羽咋市柳田町六九字42番	柳田営業所
	石川県小松市浜佐美乙198番地1	浜佐美工場
☆ 事業の概要	産業廃棄物及び一般廃棄物の収集運搬及び中間処理 廃棄物の再生事業、古物販売 自動車リサイクル引取・解体・破碎、フロンの回収 生コンクリート製造、販売 ※	

I-2 許可内容

1. 産業廃棄物

	事業の区分	許可年月日 有効年月日	許可番号	① 燃え殻	② 汚泥	③ 廃プラスチック	④ 紙くず	⑤ 木くず	⑥ 繊維くず	⑦ ゴムくず	⑧ 金属くず	⑨ ガラス陶磁器	⑩ がれき類	⑪ ばいじん	⑫ 政令第13号廃棄物
石川県	処分業	令和4年2月7日 令和8年9月27日	第01721079606号			○	○	○	○	○	○	○	○		○
金沢市	処分業	令和4年2月21日 令和9年2月18日	第06020079606号		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
石川県	収集運搬	令和4年3月23日 令和8年11月18日	第01711079606号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金沢市	収集運搬	令和5年8月6日 令和10年8月5日	第06010079606号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
富山県	収集運搬	令和4年12月9日 令和9年12月8日	第01604079606号			○	○	○	○	○	○	○	○		
福井県	収集運搬	令和4年12月4日 令和9年12月3日	第01801079606号			○	○	○	○	○	○	○	○		
新潟県	収集運搬	令和4年2月21日 令和8年12月17日	第01509079606号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
三重県	収集運搬	令和4年1月14日 令和8年11月26日	第02400079606号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
福岡県	収集運搬	令和4年2月8日 令和9年2月7日	第04000079606号	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
愛知県	収集運搬	令和4年5月12日 令和9年4月26日	第02300079606号			○	○	○	○		○	○	○		
香川県	収集運搬	令和4年5月7日 令和9年5月6日	第03700079606号			○	○		○						
滋賀県	収集運搬	令和5年1月17日 令和10年1月9日	第02501079606号		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
岐阜県	収集運搬	令和5年4月21日 令和10年4月20日	第02100079606号		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
奈良県	収集運搬	令和2年8月16日 令和7年8月15日	第02900079606号		○	○	○	○	○	○	○	○	○		

2. 一般廃棄物

	事業の 区分	許可年月日	許可番号	事業の範囲
		有効年月日		
金沢市	処分業	令和4年4月1日 令和6年3月31日	金沢市一般廃棄物 処分業許可第3号	一般廃棄物の中間処理（木くずの破砕に限る。）
金沢市	収集運搬	令和5年4月1日 令和7年3月31日	金沢市一般廃棄物 収集運搬業許可第50号	一般廃棄物（再資源化品の木くずに限る。）の収集。 積卸場所は、金沢市湊1丁目55番地16の榊中部資源 再開発に限る。 特定家庭用機器廃棄物(家電小売店引取り義務外廃家 電品の収集。積卸場所は、金沢市内に設置される指定引 取場所に限る。積替え保管については、金沢市才田町戊 288番3において家電小売店引取り義務外廃家電品を 積替え保管する場合に限る。 ※これらのもののうち石綿含有一般廃棄物を除く。 ※これらのもののうち水銀処理物を除く。
羽咋市	処分業	令和4年10月2日 令和6年10月1日	第7号	木くず類の中間処理 破砕
白山市	処分業	令和4年10月10日 令和6年10月9日	白山市一般廃棄物 処分業許可第1号	白山市及び野々市市から排出される木くずの中間処理 破砕 木製梱包材、流木材、剪定枝、造園樹木、その他市長と協議 し、認められたものに限る。
白山市	収集運搬	令和4年10月10日 令和6年10月9日	白山市一般廃棄物 収集運搬業許可第4号	一般廃棄物の木くずの収集運搬 木製梱包材、流木材、剪定枝、造園樹木、その他市長と協議 し、認められたものに限る。
輪島市	収集運搬	令和3年10月1日 令和5年9月30日	3-2	一般廃棄物 木くず の収集運搬
能登町	処分業	令和4年10月1日 令和6年9月30日	第13号	中間処理 破砕後燃料及び原料チップ、再生砕石 木くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
小松市	処分業	令和4年4月1日 令和6年3月31日	3	木くずに限る 中間処理 破砕 チップ化

3. その他許可

	事業の区分	許可年月日	許可番号
		有効年月日	
金沢市	自動車リサイクル破砕業	令和4年3月11日 令和9年2月18日	第20605000446号

	事業の区分	登録年月日	許可番号
		有効年月日	
金沢市	自動車リサイクル引取業	令和4年2月19日 令和9年2月18日	第20601000446号
金沢市	自動車リサイクルフロン類回収業	令和4年2月19日 令和9年2月18日	第20602000446号
金沢市	自動車リサイクル 解体業	令和4年3月11日 令和9年2月18日	第20603000446号
石川県	第一種フロン類充填回収業者	平成19年9月13日 令和9年9月12日	17A00245
石川県	廃棄物再生事業者	平成16年3月11日 —	第0412000070号
石川県	廃棄物再生事業者	平成22年2月22日 —	第1012000103号

	事業の区分	交付年月日	許可番号
石川県	古物商	平成14年4月18日	石川県公安委員会 東第9546号

I－3 保有車両・重機、積替保管施設

1. 産業廃棄物収集運搬車両

85台

	車両形式	積載量	積載可能寸法 全長×幅×高さ[cm]	保有台数
1	2tダンプ	1750kg	469x169x199	1
2	2tダンプ	1950kg	469x169x200	1
3	2tダンプ	2000kg	462x169x195	1
4	2tダンプ	2000kg	468x170x196	1
5	2tダンプ	2000kg	469x169x196	2
6	2tダンプ	2000kg	469x169x197	6
7	2tダンプ	2000kg	469x169x198	5
8	3tダンプ	3000kg	469x169x198	2
9	3tダンプ	3000kg	468x169x198	2
10	3tダンプ	3000kg	469x169x200	1
11	4tダンプ	3250kg	539x221x243	1
12	4tダンプ	3750kg	543x230x245	1
13	4tダンプ	3400kg	535x219x255	1
14	4tダンプ	3550kg	535x221x245	1
15	4tダンプ	3550kg	545x227x254	1
16	4tダンプ	3700kg	547x217x242	1
17	4tダンプ	3850kg	537x231x243	1
18	4tダンプ	3550kg	542x223x248	1
19	4tダンプ	3700kg	545x220x247	1
20	4tダンプ	3350kg	541x233x246	1
21	10tダンプ	7400kg	783x249x323	1
22	10tダンプ	7800kg	769x249x320	1
23	10tダンプ	8300kg	780x249x310	1
24	10tダンプ	7600kg	769x249x308	1
25	10tダンプ	8400kg	790x249x314	1
26	10tダンプ	8800kg	784x249x319	1
27	10tダンプ	9000kg	773x249x350	1
28	10tダンプ	10000kg	923x249x350	1
29	10tダンプ	11600kg	1184x249x370	1
30	10tダンプ	12100kg	1175x249x370	1
31	10tダンプ	12300kg	1162x246x379	1
	計			42台
32	塵芥車	1950kg	637x219x267	1
33	塵芥車	2000kg	516x185x226	1
34	塵芥車	2000kg	638x220x270	1
35	塵芥車	2000kg	638x220x271	1
36	塵芥車	2000kg	638x220x268	1
37	塵芥車	2050kg	638x220x269	1
38	塵芥車	2050kg	640x220x266	1
39	塵芥車	2050kg	636x220x271	1
40	塵芥車	2100kg	645x220x272	1
41	塵芥車	2400kg	634x218x261	1
42	塵芥車	2450kg	637x220x250	1
43	塵芥車	3350kg	644x220x277	1
44	塵芥車	4650kg	641x220x254	1
	計			13台

	車両形式	積載量	積載可能寸法 全長×幅×高さ[cm]	保有台数
45	コンテナ車	2250kg	698x220x342	1
46	脱着装置付きコンテナ車	3950kg	585x220x267	1
47	脱着装置付きコンテナ車	3900kg	596x220x246	1
48	脱着装置付きコンテナ車	3900kg	608x220x240	1
49	脱着装置付きコンテナ車	4150kg	613x219x235	1
50	脱着装置付きコンテナ車	8900kg	894x249x290	1
51	脱着装置付きコンテナ車	11000kg	937x249x292	1
52	脱着装置付きコンテナ車	12200kg	1129x249x293	1
53	脱着装置付きコンテナ車	12500kg	1132x249x322	1
	計			9台
54	キャブオーバ	2500kg	835x240x296	1
55	キャブオーバ	2600kg	818x227x297	1
56	キャブオーバ	2650kg	818x226x304	1
57	キャブオーバ	2700kg	817x226x296	1
58	キャブオーバ	2900kg	819x225x303	1
59	キャブオーバ	2850kg	849x226x300	1
60	キャブオーバ	2750kg	799x225x290	1
61	キャブオーバ	3000kg	598x189x273	2
62	キャブオーバ	3100kg	925x224x289	2
63	キャブオーバ	3150kg	818x223x300	2
64	キャブオーバ	3250kg	836x232x271	2
65	キャブオーバ	3500kg	687x223x216	1
66	キャブオーバ	3750kg	840x223x246	1
67	キャブオーバ	4200kg	775x224x242	2
68	キャブオーバ	4250kg	684x225x246	1
69	キャブオーバ	5800kg	870x249x374	1
70	キャブオーバ	11900kg	1015x249x274	1
71	キャブオーバ	12900kg	1189x249x300	1
	計			23台
72	清掃車	2600kg	607x219x231	1台
73	軽トラック	350kg	329x139x197	1台
	合計			89台

2.一般廃棄物収集運搬車両

3台

	車両形式	積載量	積載可能寸法 全長×幅×高さ[cm]	保有台数
1	塵芥車	3400kg	567x205x231	1
2	キャブオーバ	1250kg	446x169x198	1
3	キャブオーバ	1250kg	469x169x199	1

3. 積替保管施設

積替え保管施設 1			
会 社 名	㈱中部資源再開発	施設所在地	鳳珠郡能登町太田原又字6番1
許 可 品 目	汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず 金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)		
保 管 上 限	212. 2㎡	保管場所の面積	146. 0 ㎡
積替え保管施設 2			
会 社 名	㈱中部資源再開発	施設所在地	白山市小柳町又3番6
許 可 品 目	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず 金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)		
保 管 上 限	53. 9 ㎡	保管場所の面積	58. 3 ㎡
積替え保管施設 3			
会 社 名	㈱中部資源再開発	施設所在地	七尾市白馬町八部9番地1
許 可 品 目	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず 金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)		
保 管 上 限	156. 4㎡	保管場所の面積	191. 2㎡
積替え保管施設 4			
会 社 名	㈱中部資源再開発	施設所在地	小松市国府台5丁目34番地1
許 可 品 目	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず 金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず がれき類(石綿含有産業廃棄物を含まない)		
保 管 上 限	64. 8㎡	保管場所の面積	63. 7㎡
積替え保管施設 5			
会 社 名	㈱中部資源再開発	施設所在地	加賀市黒瀬町ネ1番1外12筆
許 可 品 目	汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず 金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず がれき類(石綿含有産業廃棄物を含まない)		
保 管 上 限	154. 8 ㎡	保管場所の面積	226. 2 ㎡
積替え保管施設 6			
会 社 名	㈱中部資源再開発	施設所在地	小松市浮柳町ソ223番外14筆
許 可 品 目	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず 金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず がれき類(石綿含有産業廃棄物を含まない)		
保 管 上 限	110. 6㎡	保管場所の面積	241. 7 ㎡
積替え保管施設 7			
会 社 名	㈱中部資源再開発	施設所在地	羽咋市柳田町六九4 2番 外2筆
許 可 品 目	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類		
保 管 上 限	116. 8 ㎡	保管場所の面積	204. 4㎡
積替え保管施設 8			
会 社 名	㈱中部資源再開発	施設所在地	金沢市才田町戊288番地3
許 可 品 目	汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 (石綿含有産業廃棄物を含む)		
保 管 上 限	50. 0 ㎡	保管場所の面積	25. 0 ㎡

4. 重機類

	バックホー	ミニコンボ	フォークリフト	タイヤショベル
湊工場	21台	10台	9台	6台
才田工場	3台	1台	8台	1台
小松工場	4台		2台	1台
加賀黒瀬工場	4台	1台	2台	3台
安宅工場	1台	1台	2台	
浜佐美工場	1台			
白山工場	3台		2台	
羽咋工場	2台			1台
七尾工場	2台		3台	1台
能登工場	4台	1台	1台	1台
柳田営業所	1台	1台		
合 計	46台	15台	29台	14台

I - 4 処理施設

処理施設の種類	圧縮施設 I
設置年月日	平成14年2月19日
設置場所	湊工場:金沢市湊1丁目55番地16
廃棄物の種類	廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く)、金属くず(自動車等破砕物を除く。)紙くず
処理能力	360t/日 (10時間稼動)
処理方式	圧縮結束方式

処理施設の種類	選別施設 I
設置年月日	平成14年2月19日
設置場所	湊工場:金沢市湊1丁目55番地16
廃棄物の種類	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(左記3品目は自動車等破砕物を除く。)ゴムくず、繊維くず、紙くず、木くず、がれき類
処理能力	185t/日 (10時間稼動)
処理方式	手選別方式

処理施設の種類	木くずの破砕施設 I
設置年月日	昭和60年7月3日
設置場所	湊工場:金沢市湊町1丁目55番地18
廃棄物の種類	木くず
処理能力	80t/日 (8時間稼動)
処理方式	一軸破砕方式

処理施設の種類	圧縮施設 III
設置年月日	平成25年5月14日
設置場所	湊工場:金沢市湊1丁目22番地3. 8. 9
廃棄物の種類	廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く)、紙くず、金属くず(自動車等破砕物を除く。)これらのもののうち石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物を除く。
処理能力	723t/日(16時間)

処理施設の種類	選別施設 III
設置年月日	平成25年5月14日
設置場所	湊工場:金沢市湊1丁目22番地3. 8. 9
廃棄物の種類	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(左記3品目は自動車等破砕物を除く。)ゴムくず、繊維くず、紙くず、木くず、がれき類 これらのもののうち石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物を除く。
処理能力	27t/h 432t/日(16時間)

処理施設の種類	廃プラスチック類及び木くず等の破碎施設
設置年月日	平成25年5月10日
設置場所	湊工場:金沢市湊1丁目22番地3. 8. 9
廃棄物の種類	廃プラスチック類(自動車等破碎物を除く)、紙くず、木くず、繊維くず、乾燥製紙汚泥 これらのもののうち石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物を除く。
処理能力	廃プラスチック類 2. 8t/h 44. 8t/日(16時間) 紙くず 1. 4t/h 22. 4t/日(16時間) 木くず 4. 4t/h 70. 4t/日(16時間) 繊維くず 1. 0t/h 16. 0t/日(16時間) 乾燥製紙汚泥 1. 6t/h 25. 6t/日(16時間)
設備の概要	4軸低速せん断敷き破碎機

処理施設の種類	減容固化施設
設置年月日	平成19年10月9日
設置場所	湊工場:金沢市湊1丁目22番地3. 8. 9
廃棄物の種類	廃プラスチック類(自動車等破碎物を除く)、紙くず、木くず、繊維くず、乾燥製紙汚泥 これらのもののうち石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物を除く。
処理能力	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、乾燥製紙汚泥 3. 0t/h 48. 0t/日(16時間)
設備の概要	2軸スクルー押出式減容固化機

処理施設の種類	木くずの破碎施設 II
設置年月日	平成15年10月24日
設置場所	湊工場:金沢市湊町1丁目55番地18外
廃棄物の種類	木くず
処理能力	26t/日 (8時間稼動)
処理方式	切削破碎方式

処理施設の種類	がれき類等の破碎施設 I
設置年月日	平成13年2月1日
設置場所	湊工場:金沢市湊町1丁目42番地1、43番地1
廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
処理能力	960t/日 (8時間稼動)
処理方式	圧縮往復動式破碎方式

処理施設の種類	がれき類等の破碎施設 II
設置年月日	平成16年3月5日
設置場所	湊工場:金沢市湊町1丁目42番地1外
廃棄物の種類	がれき類(瓦に限る。)、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
処理能力	217t/日 (8時間稼動)
処理方式	衝撃式(ハンマ式) 破碎方式

処理施設の種類	焼却施設
設置年月日	平成9年11月6日
設置場所	湊工場:金沢市湊町1丁目55番地17
廃棄物の種類	木くず、紙くず、繊維くず (量に限る。)
処理能力	21t/日 (14時間稼動)
処理方式	ガス化燃焼方式

処理施設の種類	切断施設 I
設置年月日	平成15年9月16日
設置場所	湊工場:金沢市湊町1丁目41番地1外
廃棄物の種類	廃プラスチック類、金属くず [※] （左記、自動車等破砕物を除く。） 繊維くず（量に限る。）
処理能力	132t/日（8時間稼動）
処理方式	ローリング式切断方式

処理施設の種類	汚泥の安定処理施設
設置年月日	平成18年9月6日
設置場所	湊工場:金沢市湊町1丁目42番地1外
廃棄物の種類	汚 泥（無機汚泥に限る）
処理能力	210m ³ /日（8時間稼動）
処理方式	混練方式

処理施設の種類	圧縮施設 II
設置年月日	平成19年1月15日
設置場所	才田工場:金沢市才田町戊288番地3
廃棄物の種類	廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く）、金属くず（自動車等破砕物を除く。）紙くず
処理能力	360t/日（10時間稼動）
処理方式	圧縮結束方式

処理施設の種類	選別施設 II
設置年月日	平成19年1月15日
設置場所	才田工場:金沢市才田町戊288番地3
廃棄物の種類	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（左記3品目は自動車等破砕物を除く。）ゴムくず、繊維くず、紙くず、木くず、がれき類
処理能力	185t/日（10時間稼動）
処理方式	手選別方式

処理施設の種類	切断施設 II
設置年月日	平成19年2月16日
設置場所	才田工場:金沢市才田町戊288番地3
廃棄物の種類	廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く。） 繊維くず [※] （量に限る。）
処理能力	38t/日（10時間稼動）
処理方式	ギロチン式切断方式

処理施設の種類	廃プラスチック類等の破砕施設 I
設置年月日	平成19年1月15日
設置場所	才田工場:金沢市才田町戊288番地3
廃棄物の種類	廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く。）、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、金
処理能力	49t/日（10時間稼動）
処理方式	横型スイングハンマー式

処理施設の種類	廃プラスチック類等の破砕施設 II
設置年月日	平成19年1月15日
設置場所	才田工場:金沢市才田町戊288番地3
廃棄物の種類	廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く。）、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（廃石膏ボードに限る。）
処理能力	166.0t/日（10時間稼動）
処理方式	衝撃式（ハンマ式）破砕方式

処理施設の種類	廃プラスチック類等の破砕施設 III
設置年月日	平成18年9月27日
設置場所	才田工場:金沢市才田町戊288番地3
廃棄物の種類	廃プラスチック類（廃タイヤに限る。）
処理能力	25.0t/日（10時間稼動）
処理方式	油圧切断破砕方式

処理施設の種類	廃プラスチック類等の破砕施設 IV
設置年月日	平成25年8月6日
設置場所	才田工場:金沢市才田町戊288番地3
廃棄物の種類	廃プラスチック類（廃タイヤに限る。） ※石綿含有産業廃棄物を除く ※特別産業廃棄物を除く ※一般廃棄物を含む
処理能力	16.0t/日（10時間稼動）
処理方式	二軸破砕方式

処理施設の種類	破砕施設
設置年月日	平成5年7月1日
設置場所	白山工場:白山市小柳町ヌ3番3、3番6、5番3、7番5、7番6
廃棄物の種類	木くず
処理能力	15t/h × 8h = 120t/日（8時間稼動）
処理方式	破砕方式

処理施設の種類	選別施設
設置年月日	平成19年6月30日
設置場所	白山工場:白山市小柳町ヌ3番3、3番6、5番3、7番5、7番6
廃棄物の種類	建設混合廃棄物（がれき類、木くず、廃プラスチック、ゴムくず、紙くず、繊維くず、金属くず 「ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず」）
処理能力	18.5t/h × 8h = 148t/日（8時間稼動）
処理方式	選 別（コンベアー投入→手選別→保管）

処理施設の種類	破砕施設
設置年月日	平成4年5月27日
設置場所	羽咋工場:羽咋市四柳町へ2番1、2番2、6番1
廃棄物の種類	木くず
処理能力	15t/h × 8h = 120t/日（8時間稼動）
処理方式	破砕方式

処理施設の種類	破砕施設
設置年月日	平成10年11月19日
設置場所	小松工場:小松市国府台5丁目34番地1、34番地2
廃棄物の種類	木くず
処理能力	10t/h × 8h = 80t/日（8時間稼動）
処理方式	破砕方式

処理施設の種類	破砕施設
設置年月日	平成10年11月19日
設置場所	小松工場:小松市国府台5丁目34番地1、34番地2
廃棄物の種類	「ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず」、がれき類(左記2品目は、コンクリート破片、 アスファルト・コンクリート破片に限る。)
処理能力	120t/h × 8h = 960t/日（8時間稼動）
処理方式	破砕方式

処理施設の種類	選別施設
設置年月日	平成19年8月10日
設置場所	七尾工場:七尾市白馬町八1番1、2番、5番
廃棄物の種類	建設混合廃棄物（がれき類、木くず、廃プラスチック、ゴムくず、紙くず、繊維くず、金属くず「ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず」）
処理能力	18.5t/h × 8h = 148t/日（8時間稼動）
処理方式	選 別（コンベア投入→手選別→磁選機→トロンメル→保管）

処理施設の種類	圧縮施設
設置年月日	平成19年8月10日
設置場所	七尾工場:七尾市白馬町八1番1、2番、5番
廃棄物の種類	紙くず・廃プラスチック類(軟質系廃プラスチック類に限る。)
処理能力	21t/h × 8h = 168t/日（8時間稼動）
処理方式	コンベア投入→圧 縮→結束方式

処理施設の種類	選別施設
設置年月日	平成19年11月15日
設置場所	能登工場:鳳珠郡能登町太田原ヌ字6番1
廃棄物の種類	建設混合廃棄物（がれき類、木くず、廃プラスチック、ゴムくず、紙くず、繊維くず、金属くず「ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず」）
処理能力	18.5t/h × 8h = 148t/日（8時間稼動）
処理方式	選 別（保管→重機選別→コンベア投入→手選別→磁選機→トロンメル→保管）

処理施設の種類	破碎施設
設置年月日	平成22年12月20日
設置場所	能登工場:鳳珠郡能登町太田原ヌ字6番1
廃棄物の種類	「ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず」、がれき類(左記2品目は、コンクリート破片、アスファルト・コンクリート破片に限る。)
処理能力	120t/h × 8h = 960t/日（8時間稼動）
処理方式	破碎方式

処理施設の種類	破碎施設
設置年月日	平成24年2月2日
設置場所	能登工場:能登町太田原ヌ字6番1
廃棄物の種類	木くず
処理能力	10t/h × 8h = 80t/日（8時間稼動）
処理方式	破碎方式

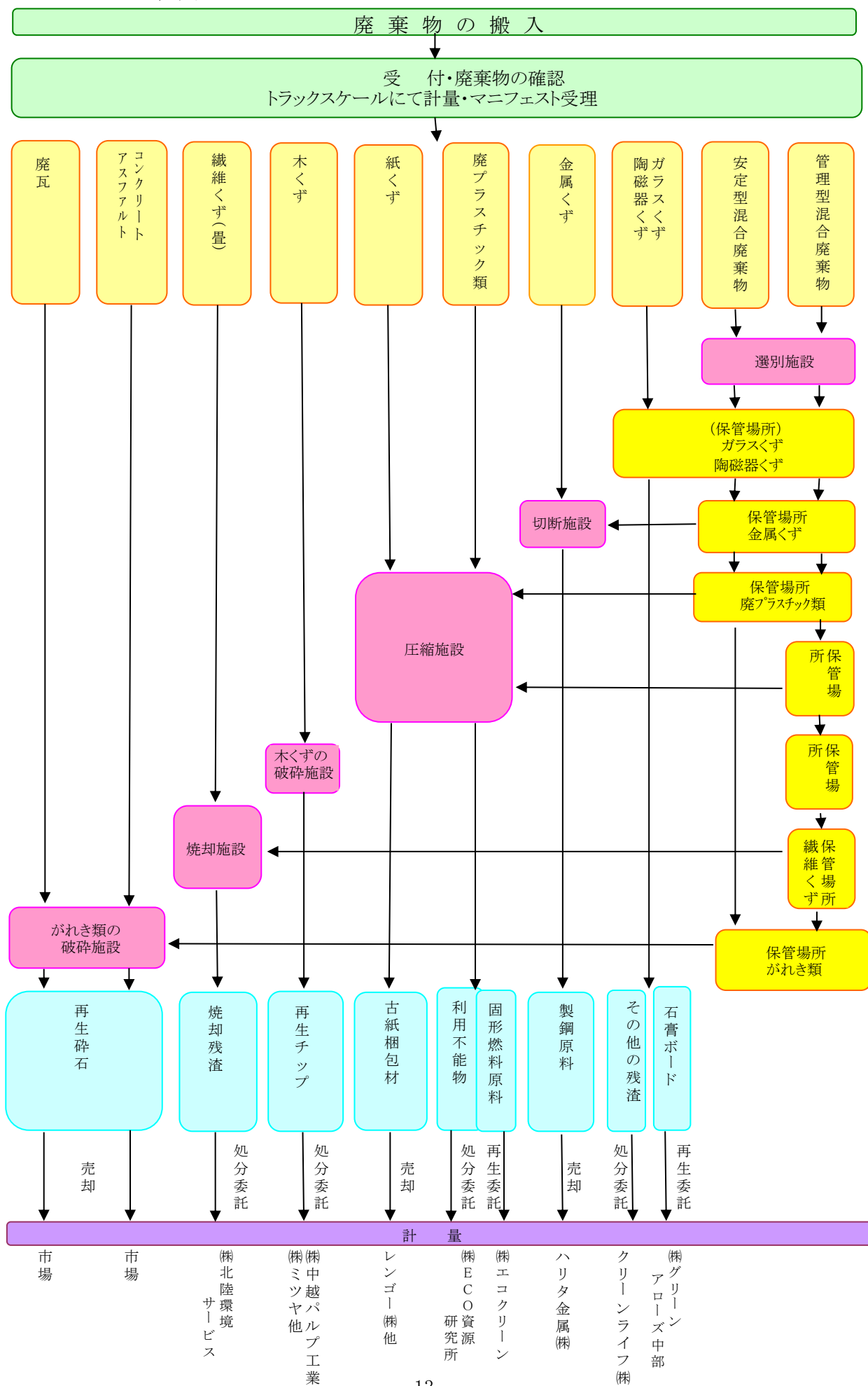
処理施設の種類	選別施設
設置年月日	平成24年3月10日
設置場所	安宅工場:小松市浮柳町ソ243番1外22筆
廃棄物の種類	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず「ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず」、がれき類、政令第13号廃棄物(紙くずに限る。)
処理能力	43.2t/h × 11h = 475.2t/日（11時間稼動）
処理方式	選 別（振動フィーダー投入→トロンメル→手選別→保管）

処理施設の種類	圧縮施設
設置年月日	平成24年3月10日
設置場所	安宅工場:小松市浮柳町ソ243番1外22筆
廃棄物の種類	廃プラスチック類(軟質系廃プラスチック類、金属くずに付着したものに限る。)紙くず、ゴムくず、金属くず、政令第13号廃棄物(紙くずに限る。)
処理能力	3. 0t/h×11h=33. 0t/日(11時間稼動)・・紙くず 1. 5t/h×11h=16. 5t/日(11時間稼動)・・廃プラスチック類、ゴムくず 6. 0t/h×11h=66. 0t/日(11時間稼動)・・金属くず
処理方式	圧縮(振動フィーダー投入→油圧圧縮→番線結束→保管)

処理施設の種類	圧縮施設
設置年月日	平成24年3月10日
設置場所	加賀黒瀬工場:加賀市黒瀬町ネ1番外39筆
廃棄物の種類	紙くず・廃プラスチック類(軟質系廃プラスチック類金属くずに付着したものに限る。)金属くず、政令第13号廃棄物(紙くずに限る。)
処理能力	3. 0t/h×11h=33. 0t/日(11時間稼動)・・紙くず 1. 5t/h×11h=16. 5t/日(11時間稼動)・・廃プラスチック類 6. 0t/h×11h=66. 0t/日(11時間稼動)・・金属くず
処理方式	圧縮(振動フィーダー投入→油圧圧縮→番線結束→保管)

処理施設の種類	がれき類等の破碎施設
設置年月日	平成27年3月26日
設置場所	浜佐美工場:小松市浜佐美町乙198番1,206番1
廃棄物の種類	「ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず」、がれき類(左記2品目は、コンクリート破片、アスファルト・コンクリート破片、石破片に限る。)
処理能力	120t/h×11h=1,320t/日(11時間稼動)
処理方式	破碎(投入→1次クラッシャー→コンベヤ→磁選機→コンベヤ→傾斜スクリーン細割クラッシャー→保管)

I-5 处理工程图



Ⅱ 処理実績

産業廃棄物処理実績

令和4年8月～令和5年7月実績

処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)	
収集運搬		コンクリート		11,029	
		アスファルト		1,084	
		がれき類(瓦)		1,350	
		その他のがれき類		1,431	
		木くず		4,136	
		紙くず		78	
		廃プラスチック類		746	
		廃プラスチック類(タイヤ)		841	
		金属くず		823	
		ガラス・陶磁器くず		118	
		ガラス・陶磁器くず(石膏ボード)		287	
		繊維くず		191	
		燃え殻		1,786	
		ばいじん		17	
		無機汚泥		173	
		安定型混合廃棄物		4,577	
		管理型混合廃棄物		3,944	
		非飛散性石綿含有		0	
	収 集 運 搬 合 計				32,611
中間処理		安定型混合	選別	1,715	
		管理型混合	選別	13,202	
		コンクリート	破砕	49,727	
		アスファルト	破砕	1,892	
		がれき類(瓦)	破砕	4,026	
		その他のがれき類	選別	4,410	
		木くず	破砕、焼却、選別	23,659	
		紙くず	圧縮、焼却、選別	582	
		金属	切断、破砕	1,963	
		廃プラスチック類	圧縮、破砕、切断、選別	2,650	
		繊維くず	焼却、選別、切断	340	
		ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	選別・破砕	158	
		ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	選別	806	
		廃プラスチック類(タイヤ)	破砕・燃料チップ	857	
		汚泥	安定処理	467	
	うち 再資源化等 自社処理		コンクリート	破砕・路盤材	49,727
			アスファルト	破砕・路盤材	1,892
			がれき類(瓦)	破砕・砕石	4,026
			木くず	破砕・燃料及び製紙原料チップ	23,659
			紙くず	圧縮・製紙原料	582
			金属くず	切断、破砕・製鉄及び非鉄原料	1,963
			廃プラスチック類(タイヤ)	破砕・燃料チップ	857
			廃プラスチック類	圧縮	19
			汚泥	安定処理	467
	再資源化等量小計				83,192
中 間 処 理 合 計				106,454	
中間処理後の 産業廃棄物	最終処分	焼却灰	管理型最終処分(委託)	1,787	
		ばいじん	管理型混合廃棄物(委託)	17	
		管理型混合廃棄物	管理型混合廃棄物(委託)	1,543	
		安定型混合廃棄物	安定型最終処分(委託)	12,096	
		廃プラスチック類	安定型最終処分(委託)	1,420	
	再資源化等	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	ボード原料(委託)	56	
		廃プラスチック類	固形燃料(委託)	247	

一般廃棄物処理実績 (木くず)

192t

令和4年8月～令和5年7月実績

古物 (再生事業)

1.733t

令和4年8月～令和5年7月実績

Ⅲ 対象範囲

Ⅲ－1 認証・登録範囲

☆ 活 動	産業廃棄物及び一般廃棄物の収集運搬及び中間処理 廃棄物の再生事業、古物販売 生コンクリート製造販売	
☆ 全 組 織	石川県金沢市湊1丁目55番地16	本社・湊工場
	石川県金沢市湊1丁目22番地7	TGコンクリート
	石川県金沢市才田戊288番地3	才田工場
	石川県七尾市白馬町八部9番地1	七尾工場
	石川県鳳珠郡能登町太田原ヌ6番地1	能登工場
	石川県羽咋市四柳町へ2番	羽咋工場
	石川県白山市小柳町ヌ3番3	白山工場
	石川県小松市国府台5丁目34番地1	小松工場
	石川県加賀市黒瀬町ネ1番1外12筆	加賀黒瀬工場 ※1
	石川県小松市浮柳町ソ223番外14筆	安宅工場
	石川県羽咋市柳田町六九字42番	柳田営業所
	石川県小松市浜佐美乙198番地1	浜佐美工場

※1 加賀黒瀬工場については、事務所がグループ
会社内に 同居の為、光熱費等は計上されていません。

Ⅲ－2 レポート対象期間・発行日

☆ 対象期間	令和4年8月から令和5年7月まで
☆ 発行日	令和5年11月30日発行

IV 環境経営方針

環 境 理 念

株式会社 中部資源再開発は、産廃処理業・収集運搬業等の事業活動において、資源や廃棄物等の「削減・再使用・再資源化」による資源循環に積極的に取り組み、お客様や地域社会に信頼され愛される企業を目指します。

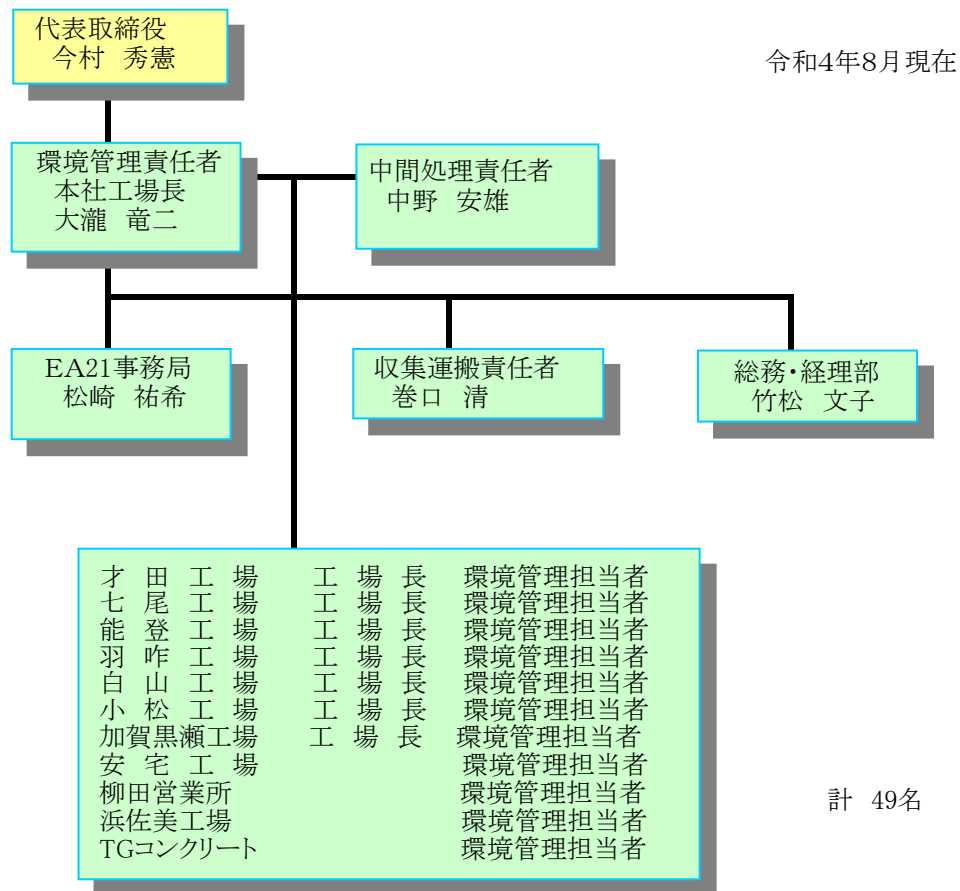
行 動 指 針

1. 省資源・省エネルギー・リサイクル活動の推進
 - ① 電力・石油エネルギーによる二酸化炭素排出量の削減
 - ② 水の適正な使用及び削減
 - ③ 事業所内の紙類のリサイクル推進
 - ④ グリーン購入の推進
 - ⑤ 収集運搬車両の運搬ルート効率化等による燃料の削減
2. 廃棄物等の排出・収集運搬時、中間処理時における資源循環の推進
排出事業者または収集運搬業者に対する情報提供等での、廃棄物の分別排出及び収集運搬の効率化等による、リサイクル量の拡大
3. 環境関連法規等の遵守
環境関連の諸法令及び条例、地域の協定等を遵守します
4. 継続的環境改善の実施
環境保全に対する改善を継続的に行います
5. 情報提供
環境方針は全従業員に周知徹底すると共に、環境活動レポートを一般に公開します

平成23年8月1日

株式会社 中部資源再開発
代表取締役 今村 秀憲

V エコアクション21推進体制



〔責任者の役割〕

職 名	責 任 と 権 限
代表取締役 今村 秀憲	・環境管理責任者の任命 ・環境方針の制定、見直し ・環境経営システムの実施・管理資金の投入 ・EA21の評価と見直し
環境管理責任者 大瀧 竜二	・EA21の改善と推進 ・環境活動計画・目標の作成と実施 ・環境関連法規の取りまとめ及び遵守 ・外部よりの苦情等の対応 ・環境活動の進捗状況を代表者に報告
中間処理責任者 中野 安雄	・各工場の環境目標や活動の実施及び進捗状況の確認・管理・報告 ・問題点の是正と予防
収集運搬責任者 巻口 清	・各目標や活動の実施及び進捗状況の確認・報告
総務・経理 竹松 文子	・グリーン購入の推進と管理
事務局 渕田 幹人 松崎 祐希	・環境管理責任者の補佐 ・環境活動レポート作成 ・各部門の取りまとめ
各工場長 環境管理担当者	・自工場の環境目標や活動の実施及び進捗状況の管理・報告 ・自工場の環境負荷の集計及び工場長の補佐

VI 環境経営目標と実績

VI-1 環境経営目標過去3年間の実績

目標項目	工場	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
二酸化炭素排出量	本社(湊工場)	t-CO ₂	2,438	2,575	2,337
	TGコンクリート		72	65	67
	才田工場		290	286	255
	七尾工場		38	35	37
	能登工場		188	136	105
	羽咋工場		31	29	26
	白山(鶴来)工場		60	55	64
	小松工場		73	55	71
	加賀黒瀬工場		22	16	16
	安宅工場		19	12	10
	浜佐美工場		20	21	40
	柳田営業所		17	18	13
	全社		3,268	3,304	3,041
産廃の中間処理量	本社(湊工場)	t	122,802	131,092	85,599
	TGコンクリート		0	0	0
	才田工場		3,231	2,617	1,832
	七尾工場		1,459	872	1,287
	能登工場		14,367	6,883	4,106
	羽咋工場		1,134	921	1,047
	白山(鶴来)工場		2,799	3,145	3,461
	小松工場		7,366	5,116	6,362
	加賀黒瀬工場		0	0	0
	安宅工場		47	36	0
	浜佐美工場		1,816	1,924	2,760
	柳田営業所		0	0	0
	全社		155,021	152,606	106,454
産廃のリサイクル率	全社	%	79.3	82.0	78.1
水使用量	本社(湊工場)	m ³	722	455	466
	TGコンクリート		※0	※0	※0
	才田工場		555	281	219
	七尾工場		428	419	404
	能登工場		0	0	0
	羽咋工場		632	579	614
	白山(鶴来)工場		112	114	109
	小松工場		818	748	721
	加賀黒瀬工場		0	0	0
	安宅工場		215	224	252
	浜佐美工場		0	0	0
	柳田営業所		62	6	40
	全社		3,544	2,883	2,825

※水使用量は、湊工場に含まれる

VI-2 中期環境経営目標

目標項目	区分	単位	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			実績基準値	目標	目標	目標	目標	目標	目標
二酸化炭素排出量	全社	t-CO ₂	3,442	3,408	3,374	3,340	3,306	3,273	3,241
売上高	全社	百万円	2,535	2,586	2,637	2,690	2,744	2,799	2,855
二酸化炭素原単位	t-CO ₂ /百万円		1.36	1.32	1.28	1.24	1.20	1.17	1.14
電気	全社	kWh	2,491,615	2,466,699	2,442,032	2,417,612	2,393,435	2,369,501	2,345,806
軽油	重機＋ダンプ	ℓ	724,598	717,352	710,178	703,077	696,046	689,085	682,195
灯油	全社	ℓ	121,000	119,790	118,592	117,406	116,232	115,070	113,919
産廃の中間処理量	全社	t	168,669	172,042	175,483	178,993	182,573	186,224	189,949
産廃のリサイクル率	全社	%	81.2	82.0	82.8	83.7	84.5	85.3	86.2
水使用量	市水＋地下水	m ³	3,478	3,443	3,409	3,375	3,341	3,308	3,274

・電気の二酸化炭素排出係数は北陸電力の2019年度調整後排出係数 0.497kg-co2/kWhを使用しました。

(中期環境経営目標の考え方)

令和1年度の実績を基準値とし、毎年、各項目の削減率または向上率を定める。

(1) 令和3年度二酸化炭素排出量は令和2年度目標×0.99とする。

(2) 令和3年度売上高は令和2年度目標×1.02とする。

(2) 令和3年度産業廃棄物の中間処理量は令和2年度目標×1.02とする。

(3) 令和3年の産業廃棄物のリサイクル率は(再生資源化量／中間処理量)とし、

令和2年度目標×1.02とする。

(4) 令和3年度水使用量は令和2年度実目標×0.99とする。

VI-3 令和5年度の環境経営目標、実績、評価

目標項目	区分	単位	令和5年度	令和5年度	達成率	評価
			目標	実績	実績／目標	
二酸化炭素排出量	全社	t-CO ₂	3,306	3,041	0.92	○
売上高	全社	百万円	2,744	2,230	0.81	×
二酸化炭素原単位	t-CO ₂ /百万円		1.20	1.36	1.13	×
電気	全社	kWh	2,393,435	2,125,303	0.89	○
軽油	重機＋ダンプ	ℓ	696,046	645,128	0.93	○
灯油	全社	ℓ	116,232	116,900	1.01	△
受託した産業廃棄物の中間処理量	全社	t	182,573	106,454	0.58	×
受託した産業廃棄物のリサイクル率	全社	%	84.5	78.1	0.92	△
水使用量	市水＋地下水	m ³	3,341	2,825	0.85	○

・電気の二酸化炭素排出係数は北陸電力の2019年度調整後排出係数 0.497kg-CO₂/kWhを使用しました。

<評価基準>

達	成		→	○
未	達	成 0～10%未満	→	△
未	達	成 10%以上	→	×

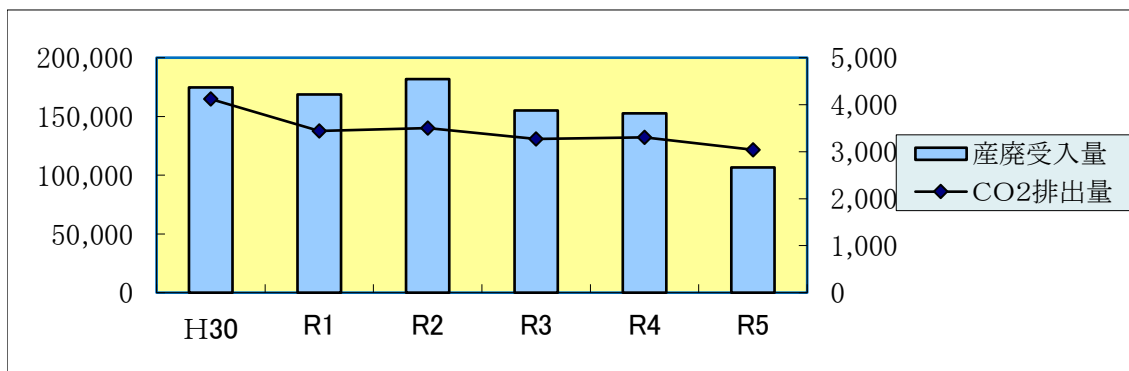
産業廃棄物中間処理量が大きく減少し、売上高も減少した。これにより、電力、軽油使用量が減少したので二酸化炭素排出量も減少した。一方で売上高100万円あたりの二酸化炭素排出量は増加した。

能登半島地震の影響が令和6年度の実績に影響すると予測されるので、必要に応じて目標を見直す必要がある。

〔CO₂排出量の推移〕

〔単位 t〕

〔単位 t-CO₂〕



	H30	R1	R2	R3	R4	R5	単 位
産廃受入量	174,576	168,669	181,885	155,021	152,606	106,454	t
CO ₂ 排出量	4,120	3,442	3,502	3,268	3,303	3,041	t-CO ₂

＊産業廃棄物の中間処理量が大きく減少し、二酸化炭素排出量も昨年に比べ大幅に減少した。

廃棄物の処理量をまずは維持した上で、二酸化炭素排出量の減少を目標とし、節水・節電等々、細かいところから見直しを図る心掛けを社員一丸となって取り組んでいく。

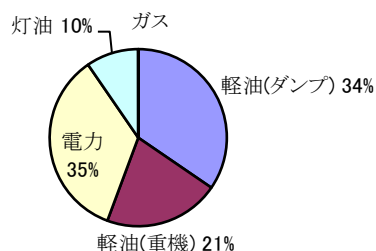
＊リサイクル率は、廃棄物の受入量に大幅な上昇が見られなく去年に引き続き、目標を達成できませんでした。

＊水使用量については、節水に努め、目標を達成しました。

＊軽油使用量が目標達成できなかった要因は、例年より遠方の現場が増加傾向にあり、移動距離が長くなったことが考えられる。

	軽油(ダンプ)	軽油(重機)	電力	灯油	ガス	合計	単 位
CO ₂ 排出量	1,050	642	1,056	291	0.4	3,041	t-CO ₂

CO₂排出量内訳



■ 軽油(ダンプ)
■ 軽油(重機)
■ 電力
■ 灯油
■ ガス

VII 環境経営活動計画の実施状況と次年度の取組

環境経営目標		活 動 内 容	評価	次年度の取組
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	① 工場内施設では、効率よく短時間に作業する	○	継続
		② 事務所では不在時・退出時・昼休み等には、電気の消灯を心がける	△	
		③ エアコンの冷房・暖房の設定温度の徹底	○	
		④ 長時間使用しない電化製品等は、コンセントを抜く	○	
	車両・重機等の燃料の削減	① 車両のアイドリングストップ等のエコドライブ推進	○	継続
		② 収集運搬車のルートの見直し等による走行距離の短縮化	○	
		③ タイヤの空気圧・摩耗状態等を定期的に確認	○	
		④ エアコンの適正使用	○	
		⑤ 重機等の適正使用及び省エネモードによる負荷の軽減	○	
水使用量の削減	上水道使用量の削減 地下水使用量の削減	① 工場内施設での水使用は、作業効率を上げ時短をめざす	○	継続
		② 事務所においては節水に心がける	○	
		③ 雨水の利用を増やす	△	
		④ 洗車を必要最小限にし、節水と短時間で洗車するように心がける	○	
一般廃棄物の削減	事務所のゴミの削減 分別し再資源化	① 事務所から出るゴミは分別し、再資源化	○	継続
		② コピー用紙等は裏紙も使用し、使用後は自社にて再生処分	○	
		③ ミスコピー等の減少	△	
		④ 詰替え商品を利用し、ゴミの量を減量する	○	
		⑤ 使用済封筒の再利用	○	
リサイクル率の向上	分別排出等による リサイクル率の向上	① 排出事業者への産業廃棄物の分別排出の働きかけ	○	継続
		② 収集運搬業者への産業廃棄物の分別運搬の働きかけ	○	
		③ 中間処理での分別の徹底	○	
グリーン購入		① エコマーク製品の優先購入	○	継続
		② 文具類の発注は、本社で一括発注する	○	
環境コミュニケーション		① 工場周辺の清掃	○	継続
		② 古紙・空き缶等のリサイクルBOXの設置	○	
教育訓練		① 各工場においての、環境事故等における改善策の定例会議の実施	○	継続
		② 車両・重機の油漏れ等あった場合の応急処置の訓練の実施	○	
		③ 朝礼において、環境保全に対する話しかけを実施	○	

VIII 環境関連法規等の遵守状況の確認評価、違反・訴訟等の有無

VIII-1 環境関連法規等の遵守状況

適応法規名	遵守事項	遵守内容	遵守状況	チェック日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	処分業者	・ 処分業許可証の有効期限等の確認	○	R5.7
		・ 産業廃棄物処理委託契約書の管理	○	
		・ 産業廃棄物の飛散・流出の防止	○	
		・ 悪臭・騒音・振動等の防止対策による生活環境の保全	○	
		・ 産業廃棄物の保管基準による掲示板の設置	○	
		・ 屋外保管場所においては、囲いがあり保管上限を超えていない。	○	
		・ 当該処理施設の保管容量以上の、産業廃棄物を保管しない。	○	
		・ 事故等による産業廃棄物の処分困難時の委託業者への書面での通知。	○	
		・ 焼却施設の定期検査の受検及び各施設の維持管理記録の保存(3年間)と公開	○	
		・ 産業廃棄物処分実績報告書の提出	○	
	収集運搬業者	・ 収集運搬業許可証の有効期限等の確認	○	R5.7
		・ 産業廃棄物処理委託契約書の管理(収集運搬)	○	
		・ 収集運搬車輛への許可番号等の表示	○	
		・ 収集運搬する産業廃棄物の飛散・流出の防止	○	
		・ 石綿含有産業廃棄物は、破碎しないようかつ他の物と区分して収集運搬する。	○	
	マニフェスト管理	・ 水銀使用製品産業廃棄物は、破碎しないようかつ他の物と区分して収集運搬する。	○	R5.7
		・ 収集運搬車輛のマニフェスト及び許可の携帯。	○	
		・ マニフェストの管理(交付・返却・交付状況報告等)	○	
		・ マニフェストの記録・保管等(保存期間5年間)	○	
大気汚染防止法	設置の届出 測定記録	・ 施設設置の届出	○	R5.7
		・ 水銀・ダイオキシン濃度の測定、基準値の厳守 報告書の提出	○	
		・ その状況に講じた措置等を届け出る	○	
消 防 法	届出	・ 少量危険物貯蔵所及び指定可燃物貯蔵所、軽油 地下タンク給油取扱所の 届出と看板の設置	○	R5.7
	許可の申請		○	
自動車 リサイクル法	登録業者	・ 自動車解体業者の許可	○	R5.7
	許可の申請	・ フロン類の回収業者登録	○	
	再資源化	・ 自動車の部品等及び金属等の再資源化	○	
騒音規制法	設置の届出	・ 施設設置の届出。	○	R5.7
振動規制法	規制値の管理	・ 騒音及び振動の規制値の遵守。	○	R5.7
フロン排出抑制法	エアコンからの フロン排出の抑制	・ 簡易点検の実施、記録保管	○	R5.7
浄化槽法	点検・検査	・ 保守点検(4ヶ月)・水質検査(1年)の実施	○	R5.7
地元との協定等	公害防止協定等	・ 羽咋工場にて、地元との始業・終業時間指定の 協定あり	○	R5.7

VIII-2 環境関連法規等の違反・訴訟の有無

環境関連法規への違反、訴訟等はありませんでした。

なお、関係当局より違反等の指摘は過去3年間にはありませんでした。

環境関連法規等は、自社の遵守状況を把握し、定期的に見直しを行い常に最新のものとなるように管理します。

代表者による全体の評価と見直し記録			
代表者	検印	見直し実施日	メンバー
今村 秀憲	今村	R5.7.25	今村、大瀧、湊田、松崎
見直しのための情報			確認
①環境関連法規の順守状況			○
②環境目標の達成状況および環境活動計画の実施状況、その評価結果			○
③問題点の是正処置及び予防処置の結果			○
④外部からの苦情等の受付結果			○
⑤環境経営レポート			○
エコアクション21全体の取り組み状況の評価			
システムの有効性(EMSが機能しているか)		適	不適
取り組み状況の適切性(要求事項を満たしているか)		適	不適
見直しの必要性			
環境経営方針	有	なし	
環境経営目標	有	なし	
環境経営活動計画	有	なし	
環境経営システム	有	なし	
組織体制	有	なし	
指示事項			
1. 去年同様、二酸化炭素使用量が大幅に減少。しかし廃棄物の処理量もわずかに減少した。今後は、 廃棄物処理量上昇、それに伴うリサイクル率の上昇を目標としながら、社員一丸となって節水・節電等、 二酸化炭素の排出量の低下にも取り組んでいきたい。			
2. 前回に比べ、光熱量は全体的に減少。節電・節水を社員一丸となり心掛けた為と思われる。その一方で 工場内での軽油の使用量が前年度と変わらないという結果になった。今後、需要による使用頻度等を 模索し、無駄なアイドル運転を減少、重機選定の見直し等を図る。			
3. 次年度においても環境活動計画を社員全員にて推進し、今年度達成できなかった項目に ついては、少しでも改善し目標達成に取り組んでいきたい。			